

子どもひとりひとりの発達に合わせて、
厚生労働省の児童発達支援ガイドライン5領域に対応した支援をしています。

① 健康・生活

- ・自分でできる、を増やす



② 運動・感覚

- ・自然豊かな園庭での活動
- ・感覚の実体験からの概念形成



③ 認知・行動

- ・モンテッソーリ教具・教材の活用
(日常・感覚・数・言語・文化・コスミック)



④ 言語・コミュニケーション

- ・表出を助ける
- ・子ども同士のやり取りを促す



⑤ 人間関係・社会性

- ・思いやりを育む



そのほかにも…

○地域支援・地域連携

- ・シルバー人材さんとの交流
- ・近隣の散歩
- ・併用幼稚園、保育園との連携



○家族支援

- ・保護者の集い
- ・面談

